

学校評価アンケート（後期）の集計結果について

後期の児童・保護者・教職員アンケートを実施し、分析をしました。これらの結果をもとに、成果と課題を把握し、学校改善を進めて参ります。ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

*平均値が3以上であれば肯定的、2.5未満であれば改善を要する結果となります。

令和3年度学校評価

後期 回収率72%

上渚滑小学校

4「そう思う」・3「おおむねそう思う」・2「あまりそう思わない」
1「そう思わない」の4段階での評価を実施する。 評価数値はアンケートの平均値

学校教育目標	番号	評価項目	自己（職員）評価項目		保護者アンケート項目		児童アンケート項目						
			前期	後期	前期	後期	前期	後期					
よく考え進んで学習する子	1	確かな学力	3.3	3.5	①子どもに、「読み・書き・計算」の基礎的な力がついている	3.9	3.2	①学校の勉強はわかりやすい	3.9	3.9			
	2		3.3	3.5				②授業開始時に着席している	3.4				
	3		3	3.3				③授業開始時に机上に学習の準備ができています	3.8				
	4		2.8	3	<b style="text-align: center;">保護者アンケートから <成果> ②子どもは、宿題や家庭学習をしっかりとやっている 3.8(0.3↑) ③子どもに、しっかりと話を聞こうとする態度が育っている 3.4(0.4↑) ④子どもに、積極的にあいさつをしようとする態度が育っている 3.3(0.1↓) ⑤子どもに、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣がついている 3.4(0.4↑) ⑥子どもに、きまりや約束を守ろうとする態度が育っている 3.4(0.4↑) ⑧子どもは、いじめを無くし楽しい学校生活を送ろうとしている 3.5(0.3↓) ⑨子どもに体力(筋力・持久力・柔軟性など)がついてきた 3.5(0.4↑) ⑩子どもは、健康や安全について意識して過ごしている 3.4(0.4↑) ⑪子どもは、自分のやるべきことを最後まできちんとやろうとしている 3.5(0.4↑) ⑦子どもに、自主的に考え行動しようとする態度を育てる必要がある。2.9(0.3↑) <課題> <今後の取組>主体的・対話的で深い学びを実現する。								
	5	学習環境の充実	3.5	2.5									
	6		3	3									
	7	学習過程の確立	3.3	3.3									
	8		3.3	3				④めあてやまとめをノートに書き、わかったことやできるようにしたことを確かめている	3.8	3.5			
	9	指導方法	3	3.3				⑤よく考えて一生懸命学習している	3.8	3.8			
	10	家庭との連携(学習)	2.8	3	②子どもは、宿題や家庭学習をしっかりとやっている	3.5	3.8	⑥宿題や家庭学習に進んで取り組んでいる	3.8	3.7			
	11		2.8	3	③子どもに、しっかりと話を聞こうとする態度が育っている	3	3.4	⑦人の話を集中して聞いている	3.9	3.9			
明るく思いやりのある子	12	道徳教育	2.8	3	④子どもに、積極的にあいさつをしようとする態度が育っている	3.4	3.3	⑧家族や先生、友だち、お客さんにきちんとあいさつができる	4	4			
	13		2.8	2.5									
	14	生徒指導	2.6	2.6				⑨おとなの人に、正しくいねいなことばづかいができる	3.8	3.3			
	15		2.8	2.4	⑤子どもに、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣がついている	3	3.4						
	16		2.8	3	⑥子どもに、きまりや約束を守ろうとする態度が育っている	3	3.4	⑩学校のきまりや学級のきまりをまもろうとしている	3.8	3.8			
	17		2.8	3.2	⑦子どもに、自主的に考え行動しようとする態度が育っている	2.6	2.9	⑪自分のことは、自分で考えて やろうとしている	3.7	3.5			
	18	いじめ防止	3.2	3.4				⑫いじめをなくし楽しい学校にしようとしている	4	3.9			
	19		3.4	3.4	⑧子どもは、いじめを無くし楽しい学校生活を送ろうとしている	3.8	3.5	⑬学校で楽しく過ごしている	4	3.5			
	子を体きたす命	20	体力向上	3	3	⑨子どもに体力(筋力・持久力・柔軟性など)がついてきた	3.1	3.5	⑭進んで体を動かし、元気でいようとしている	3.4	3.8		
21		保健・安全	3	3.4	⑩子どもは、健康や安全について意識して過ごしている	3	3.4	⑮地しんや火事になったとき、どのように行動したらよいか知っている	3.9	3.9			
ぬねばり強く		22	勤労・責任	3	3.2	⑪子どもは、自分のやるべきことを最後まできちんとやろうとしている。	3.1	3.5	⑯係の仕事や掃除等を、最後まできちんとやろうとしている。	4	3.9		
	23	教育目標経営方針	2.5	2.4	⑫学校は、教育方針・目標・課題をわかりやすく家庭に伝えている。	2.9	3	<b style="text-align: center;">児童アンケートから <成果> 全体的に高い評価である。 ①～⑤話をしっかりと聞き、よく考えて一生懸命学習している。 ⑥～⑩いじめをなくすように努力し、楽しい学校生活を送っている。 ⑭ 自分のやるべきことに最後まで取り組んでいる。 <今後の取組>正しくいねいな言葉づかいができるように指導する。					
24	家庭・地域との連携	2.9	2.5	⑬学校は、積極的に家庭や地域の願いを理解しようしたり、学校や学級の方針について家庭や地域の理解を得ようとする努力をしている。	2.8	3							
25	教育課程	2.7	2.5	学校は教育活動を地域に開き、理解される努力をしている									
学校経営・運営・その他	26	組織運営	2.2	2.7	<b style="text-align: center;">教職員による学校評価 <成果> ①子どもたちに基礎・基本の学力が身に付くよう努力している ②客観的なデータと児童観察から、個に応じた、学習指導に努めている ③体験活動や関わりの場の設定などわかる授業展開のための工夫をする ⑦めあてを意識させ見通しを持たせて授業を進めている ⑨学びを深めるICTの活用や板書の工夫をしている ⑩いじめの未然防止・早期発見にこころがけ、子どもの様子に目を配る ⑪児童は楽しく学校生活を送っていると感じる ⑫健康や安全・防災・防犯の意識を高め行動の在り方を考えさせている ⑬やるべきことを最後まできちんとやるよう指導している <課題> ⑤「上小の基礎・基本について」を確認し指導を徹底する必要がある。 ⑬道徳科の充実と指導法の改善を図る必要がある。 ⑲「学校教育目標」や「めざす子ども像」が児童や家庭・地域に理解され、協力を得ることができるようになる必要がある ⑳主担当を中心としPDCAサイクルを活用し業務改善を図る。 <今後の取組>平均値が低い項目について、課題と改善策を明らかにし、改善を進める。教職員が連携しチームとしての学校運営を進めていく。								
	27		2.5	2.4									
	28	小中連携	2.8	2.8									
	29	新教育課程編成の準備	2.6	2.7									
	30	指導力向上	2.6	2.7									
	31	服務規律の徹底	3.4	3.2									
	32		3.4	3.2							⑭学校は一人一人の人権を大切にしたい教育活動を行っている。	2.7	3
	33	働き方改革	2.7	3									
	34	特別支援	3	3									

①大雪の後に、通学路の除雪を依頼していただきたい。→今後も、天候による通学路の状況を把握し、直ちに除雪を依頼し、児童の安全確保に努める。

②授業が遅れないように、計画的に進めていただきたい。→一部の学級に授業の遅れがあったが、遅れを取り戻しつつある。児童は、主体的、対話的な学びを目指し、友達と交流しながら楽しく学んでいる。

学校評価の結果を受けた考察及び今後の取組(アンケートの数値から)

アンケート結果から「自主的に考え行動しようとする子どもに育ってほしい」という保護者の願いが伝わってくる。本校の研究主題である「主体的・対話的で深い学びを実現する」という研究に基づく授業をすることがこの課題の解決に結びつくと考えられる。それは子どもが以下の学びをすることである。

「これからどんどん社会が変化していく中で、今までのように知識をただ暗記しておくだけでは、実際の社会ではなかなか活躍できる人材とはなりえない。そこで、自分から進んで学んでいく“主体的学び”。子ども同士がお互いにディスカッションして話し合うとか問題を解決していく“対話的な学び”。これまで使ってきた様々な知識や技能を積極的に活用しながら自分の考えを出したりアウトプットして深く理解していく“深い学び”。こういったことを今まで以上に学校の授業で実践していきたいと思う。」*参考 NHK教育「ウワサの保護者会」